

科目名	情報リテラシー実践 A		基礎科目群	単位数	2	特別申請科目
担当教員		後期				
科目ナンバリング 2018年度以降入学生対象	GAB-201-1：全学共通科目					
授業方針・テーマ	<p>実践的な課題を通して、統計学の基礎に基づくデータ分析（Microsoft Excel、JMP、R、HADのいずれか1つ以上）と、データベースの活用（Microsoft Access）に取り組む。</p> <p>カッコ内：使用予定のツールの名称</p>					
習得できる知識・能力や 授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・情報機器の使い方を理解し、具体的な課題解決の場面で情報を収集、分析、判断、編集、発信、共有することができる（幅広い教養としての知識・理解、情報活用能力） ・統計学の基礎を理解し、統計解析ソフトウェアによるデータ分析に取り組むことができる（専門分野の基本的な知識・理解及び技術、総合的問題思考力） ・データの特徴を明らかにするために、さまざまな分析方法を試行錯誤する姿勢を備えている（専門分野の基本的な知識・理解及び技術、能動的学修姿勢） 					
授業計画・内容 授業方法	<p>【統計学の基礎とデータ分析】</p> <p>Microsoft Excel、JMP、R、HADのいずれか1つ以上のツールを使用予定</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報倫理講習、授業ガイダンス、統計解析ソフトウェアの紹介 2. 統計学についての基礎知識（データの種類、基本統計量、度数分布、ヒストグラムなど） 3. 母集団と標本（平均・分散の推定、正規分布など） 4. 平均値の差の検定(1)（対応のあるデータ） 5. 平均値の差の検定(2)（対応のないデータ） 6. 独立性の検定(1)（2行2列の分割表） 7. 独立性の検定(2)（L行M列の分割表） 8. 相関分析 9. 回帰分析 10. 課題提出のための実習 <p>【データベース】</p> <p>Microsoft Accessを使用予定</p> <ol style="list-style-type: none"> 11. データベースの特徴（表計算ソフトとの違い）と基本操作 12. データベースの機能(1)（テーブル、フォーム） 13. データベースの機能(2)（レポート、クエリ） 14. データベースの機能(3)（リレーションシップ） 15. まとめ 					
授業外学習	<ul style="list-style-type: none"> ・eラーニングシステム上のコースウェアや、担当教員が公開する資料などを用いて、予習や復習、課題への取り組みを十分に行うこと。 ・メッセージや掲示板等を活用する場合もあるため、以下のウェブサイトより「kibaco 利用ガイド」を確認すること。 <p><https://e-learning.cpark.tmu.ac.jp/e-learning/ja/guide/kibaco_guide.html></p>					
テキスト・参考書等	<p>eラーニングシステム「kibaco」上に、コースウェアおよび各種コンテンツを設置する。</p> <p>クラスによっては担当教員から別途、指示される場合がある。</p>					
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への積極的な参加、提示される課題や発表などの観点に基づき、総合的に評価する（担当教員により若干異なる場合がある） ・授業への積極的な参加は、さまざまなデータ分析を試行錯誤する姿勢によって評価する（専門分野の基本的な知識・理解及び技術、能動的学修姿勢） ・課題や発表については、ICTを活用した課題解決や統計解析ソフトウェアによるデータの分析に主体的に取り組んでいるかどうかを評価する（幅広い教養としての知識・理解、情報活用能力、専門分野の基本的な知識・理解及び技術、総合的問題思考力） 					
質問受付方法 (オフィスアワー等)	<p>担当教員により異なるため、授業ガイダンスの際に提示する。</p>					
特記事項 (他の授業科目との関連性)	<ul style="list-style-type: none"> ・前期の情報リテラシー実践Ⅰ（またはⅠA）の内容を十分に理解していること。 ・本授業では、担当教員によって扱うツール（Microsoft Excel、JMP、R、HAD）が異なるため、履修の方法と併せて南大沢キャンパス1号館教務課A掲示板の掲示や教務課ホームページを確認すること。 					